

警 察 署 協 議 会 会 議 録

飯塚警察署協議会

開催年月日時	令和6年5月24日 午後4時00分 から 令和6年5月24日 午後5時30分 まで
開催場所	飯塚警察署3階会議室
出席者	警察署協議会 副会長以下8名
	警 察 署 署長、副署長、会計管理官、地域管理官、刑事管理官、警備管理官、総務課長、留置管理課長、会計課長、生活安全課長、刑事第一課長、刑事第二課長、交通課長、署付、事務局2名 (16名)
議 事 概 要	
<p>【副会長挨拶（要旨）】</p> <p>○ 本日は、飯塚警察署協議会委員の皆様、飯塚警察署の皆様には大変お忙しい中、多数御参加いただき、感謝申し上げます。</p> <p>最近では、白昼堂々と強盗などの凶悪事件が発生するなどしており、飯塚警察署の方々には引き続き、地域の安全・安心に向けた対策を頑張っていたいただきたい。</p> <p>また、先ほど、剣道特練員の熱意あふれる訓練を視察させていただきました。</p> <p>来週の大会に向けて、頑張っていたいただきたい。</p> <p>【署長挨拶（要旨）】</p> <p>○ 本日はお忙しい中、御出席いただきお礼申し上げます。</p> <p>○ 春季人事異動により、私以下10名の幹部が交代している。</p> <p>○ 新たに1名の方を警察署協議会員としてお迎えすることができ、警察署長としては大変心強く思う次第である。</p> <p>○ 当署管内の治安情勢について説明させていただくと、</p>	

議 事 概 要

刑法犯認知件数は4月末現在で297件であり、前年と比べると2件減少している。

- 297件のうち、窃盗が179件と最も多く、全体の約6割を占め、その中でも万引きが51件、自転車盗などの乗り物盗が47件となっている。
- 暴力団の取締りについては、本年中、工藤會幹部による傷害事件の検挙、太州会組員による監禁・強要未遂事件の検挙、太州会組員による覚醒剤事件の検挙、公営住宅からの太州会組員の排除、太州会幹部による「みかじめ料・用心棒代要求行為」に対する中止命令の発出などを行っている。
引き続き、関係各所と一体となって、一切手を緩めることなく、取締りを推進していく。
- 飲酒運転状況については、本年中、飲酒運転による交通事故の発生はなく、前年同期比マイナス2件となっているが、飲酒運転に関する取扱いは4月以降増加傾向であり、現在、取締りをはじめとした諸対策を推進している。
- 性犯罪の発生状況は、4月末現在で、不同意性交及び不同意わいせつが、合計5件発生したが、うち2件については検挙しており、残り3件についても犯人の検挙に向け鋭意捜査中である。
- サイバー犯罪に関しては、インターネットバンキングに係る不正送金事案が、県下では、令和5年中、発生件数が174件、被害額が約2億1,850万円となり、発生件数、被害額ともに前年比で10倍以上の被害が発生するなど、憂慮すべき状況であり、当署管

議 事 概 要

内においても、昨年中は1件、本年も既に1件の発生を認知している。

今後も被害防止に向け、効果的な情報発信や事業者等との連携を図っていく。

- 重要凶悪事件については、本年中、殺人や強盗の発生はないが、事件発生に備え、本部捜査一課と連携した想定訓練を来週に実施を予定している。
- 災害対策としては、出水期に入ると線状降水帯の発生による集中豪雨、台風等の影響による災害発生のリスクが高まるため、関係機関との合同訓練及び情報共有を図っている。

また、まずは自分自身の身の安全は自分で守るという自助意識を高めてもらうための広報啓発を行っている。

- テロ対策としては、今年3月にモスクワ郊外で銃乱射テロが発生、また、日本国内では、令和4年に安部元総理銃撃事件が発生するなど依然として国内外を問わず、テロの脅威は高いままである。そのために、官民一体となった「テロ対策福岡パートナーシップ推進会議」を設置し、官民連携ネットワークを構築することでテロ対策を推進していく。

【報告事項】

警察署からの報告事項

- 1 福岡県警察剣道大会に向けた当署の取組について（総務課長）
- 2 ニセ電話詐欺の現状と対策について（生活安全課長、刑事第二課長）
- 3 交通死亡事故の発生状況と対策について（交通課長）

【質疑応答】

議 事 概 要

○ 質疑応答無し。

【飯塚警察署の業務運営に対する意見要望】

○ 意見要望等無し。